

廃墟の彼方に

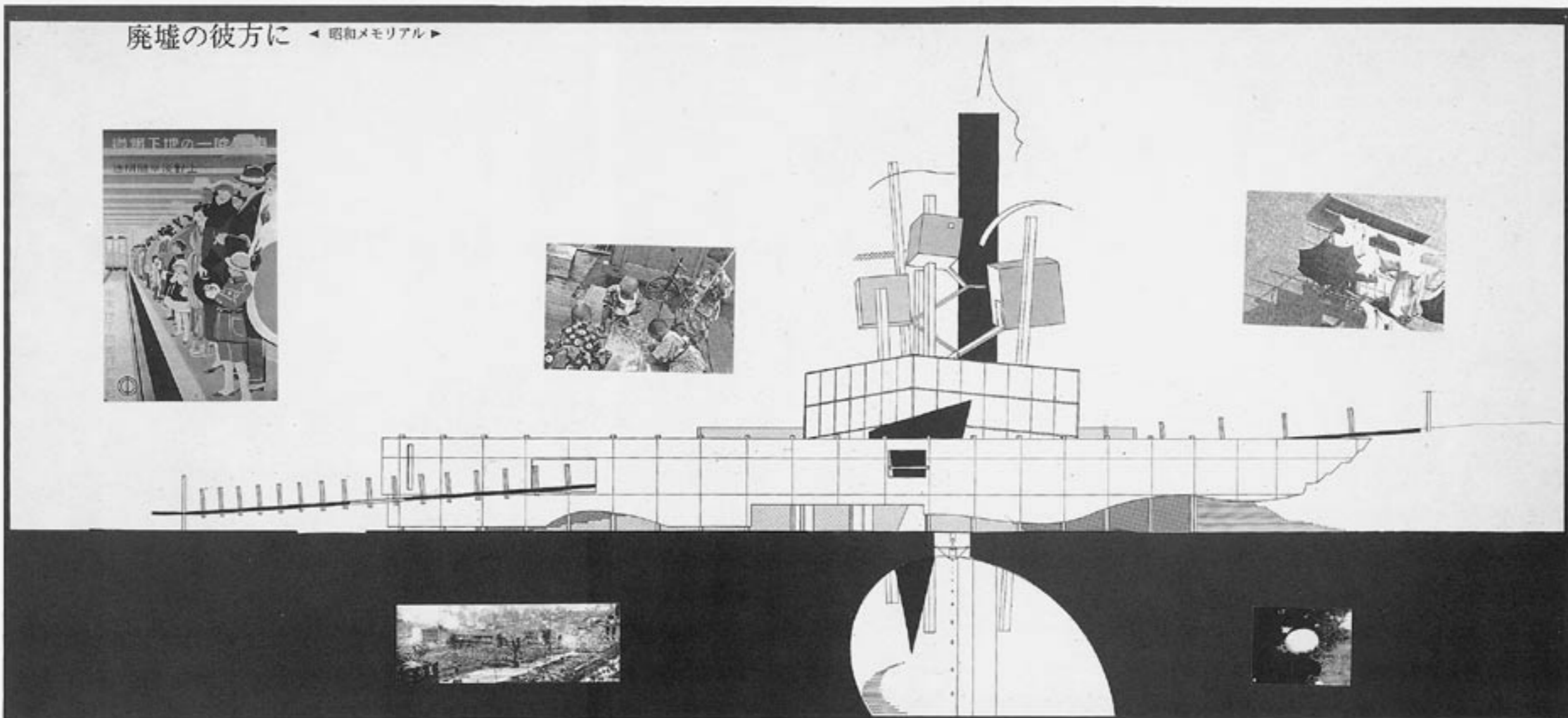
—昭和メモリアル—

奨励賞受賞

持田 誠一



廃墟の彼方に ◀ 昭和メモリアル ▶



■設計主旨

昭和という過去があり、平成という現在があり、まだ見ぬ未来がある。私達は、普段の生活の中で、懐かしさ、喜び、悲しみ、希望、不安と様々な感情の中をさまよう（意識の回遊・・・過去、現在、未来、夢、宇宙、自然と横々に広がる）。それは、昭和という時代が終わった瞬間に、私たちが確かに感じた事である。

現在の都市（東京）は、建物の上空にはクレーンが建ち並び、新しいものから新しいものへと変動することのみに価値がおかれています。日々変貌を続けているこうした都市において人々は記憶に回顧することを忘れてしまうのではないのでしょうか。

私がかねがね持ってきた都市に対する疑問を表現しました。

